第5回日本医科大学・早稲田大学合同シンポジウムを開催しました（2026年1月24日（土））

2026年1月24日（土）午前10時から第5回日本医科大学・早稲田大学合同シンポジウムが日本医科大学済生学舎1号館 2階 講堂で開催されました。

このシンポジウムは、本学と早稲田大学との大学間交流に関する協定に基づき、医理工連携や最新の研究成果を発表し、さらなる連携推進を図ることを目的として開催しました。

当日は、本学の弦間昭彦学長と早稲田大学の田中愛治総長による開会の挨拶の後、第1部では両校の研究紹介として4題の講演、第2部では日本医科大学学生による研究配属における研究成果の発表が行われました。その後、早稲田大学岩﨑清隆教授研究室に配属された田島黎氏、蓮井風歌氏、宮崎花凜氏の3名が「第5回日本医科大学・早稲田大学合同シンポジウム 優秀研究賞」を受賞し表彰されました。最後に早稲田大学の須賀晃一副総長と本学の清家正博大学院医学研究科長の閉会の挨拶があり、シンポジウムが閉会となりました。

次回の開催に向けて、両校の教育・研究協力のさらなる発展を目指して進めて行きたいと思います。

日本医科大学　弦間昭彦　学長

早稲田大学　田中愛治　総長

プログラムは以下のとおりです。

◆第１部「研究紹介」

〔座長〕早稲田大学 合田亘人（研究推進部参与）

日本医科大学 清家正博（大学院医学研究科長）

１．日本医科大学　関根鉄朗（臨床放射線医学 准教授）

「Real world dataにおける脳容量解析

-日常診療で用いられるCTおよび2D-MRI画像からの簡便な定量解析手法の開発-」

２．早稲田大学 大河内博（理工学術院 教授）

「マイクロプラスチック大気汚染の実態：健康と気候への新たなリスク」

３．日本医科大学　村井保夫（脳神経外科学分野 大学院教授）

「本邦における生体内マイクロプラスチック研究の現状と意義」

４．早稲田大学 芹田和則（理工学術院 准教授）

「テラヘルツ点光源を用いた医用イメージング技術とその応用展開」

研究紹介の様子（左から関根准教授、大河内教授、村井大学院教授、芹田准教授）

◆第2部「日本医科大生による早稲田大学研究配属での成果発表」

〔座長〕早稲田大学 後藤正幸（教務部副部長）

日本医科大学 山口博樹（研究配属実行委員会委員長/血液内科学分野 大学院教授）

１．梅津信二郎教授研究室配属　大岩遼功、奥山敦史、齊藤莉子

課題名「A: 簡易脳波計を利用した精密な脳波計測と集中力の評価

B: 汗センサーを用いた正確な体液成分測定と健康状態の評価

C: サイボーグ昆虫」

２．浜田道昭教授研究室配属　黒田麻友

課題名「バイオインフォマティクス演習～次世代シーケンシング（NGS）解析演習～」

３．岩﨑清隆教授研究室配属　田島黎、蓮井風歌、宮崎花凜

課題名「心臓弁の形態と機能を科学する」

成果発表・質疑応答の様子

左から早稲田大学 田中愛治 総長、優秀研究賞を受賞した本学学生、本学 弦間昭彦 学長